

1月1日の礼拝メモ

『愛によって一致し、志を一つにする教会』

ピリピ人への手紙 1:26~38

キリストの福音にふさわしく生活しなさい。(27節)

序]

久留米教会にとって、新しい牧師と共にスタートする最初の年。

今年の教会標語は『あなたがたは一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにしてください。』(ピリピ 2:2)。

今朝の今年の教会の目標は「愛によって一致し、志を一つにする教会」。私たちは今年、「愛による一致」を目指したい。この目標を実現するためには、教会員各人はどのような自覚に立つべきか。教会全体としては、どのようなビジョンに立つべきか。

本]

I 教会員が立つべき自覚—『キリストの福音にふさわしく生活しなさい』(1:27)

久留米教会のメンバー各人は、今年、キリストにふさわしく生活することを心した。「生活する」とは、ギリシャ語原語では「市民として生活し、その責任と義務を果たす」という意味をもっている。

ピリピの町は、ローマ帝国の植民地だった。この町には、それまでローマのために戦ってきた退役軍人たちが多く住んでいた。帝国側としては、彼らに、ただその町で平穩無事に生活するというだけを求めるのではなく、ピリピをローマの国としてまとめ、ピリピ人たちをローマの市民としてふさわしく指導する役目を与えた。

パウロは、このピリピ人たちの意識を刺激するようにして、その町で救われた信徒たちに語った。では、クリスチャンはどこに属する市民となったか? 「私たちの国籍は天にあります。」(3:20) 我らは今年、天国市民としての自覚と誇りを持って生活することを目指すべきなのである。

II 教会全体として目指すべきビジョン—「キリストにふさわしく生活する」

「キリストにふさわしく生活する」=天国市民として生きるということは、この世でありながら、この世の者でない生活をしなければならない。それは、キリストの苦しみをも賜ったことを意味する。(1:29)しかしパウロは2章に入って、この戦いを一人で戦うのではないと述べている。どうしたら、キリスト者はキリストにふさわしく生活できるか。つまり、パウロはこの世の戦いをどのように戦うか。戦う信仰者が教会を形成し、教会全体として戦うのだと述べている。「福音にふさわしく」との信仰生活は、個人戦ではなく団体戦なのである。「心を一つにして福音の信仰のために、ともに奮闘する」これが本物の教会の姿である。*では、どうすれば教会員が心を一つにして福音の信仰のために、ともに奮闘することが出来るか?それが、今年の教会標語である(2:2)。久留米教会が今年、目指すべき目標は「愛によって一致し、志を一つにする教会」

結]

久留米教会の今年の志(ビジョン)は、三つである。一致ということを中心に留めて、「共に」という言葉でまとめた。

①共に礼拝を捧げる礼拝 ②共に交わりを深める教会 ③共に伝道する教会

これらの三つの実現のために、教会員各人でアイデアを出し合おう。来週から、さらに三つの項目を掘り下げて語っていく。